Information Meeting 2020

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ムラタの概要

村田製作所は、最先端の技術、部品を創出する総合電子部品メーカーです。Innovator in Electronicsをスローガンに掲げ、豊かな社会の実現をめざします。

ムラタの強み

- 最先端の材料を研究開発
- 広範囲な製品ラインナップ
- グローバルな生産、販売ネットワーク

ムラタのプロフィール

- 創業：　1944年
- 売上高：　1兆5,340億4,500万円
- 企業数：　90社（国内28社、海外62社）
- 従業員数：74,109名（国内31,258名、海外42,851名）

※売上高は、2020年3月期決算。
※従業員数は2020年3月31日時点のものです。
※グループ企業数は2020年3月31日時点のものです。
※村田製作所はグループ企業数に含まれておりません。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

経営理念

創業者　村田昭

社　是

技術を練磨し
科学的管理を実践し
独自の製品を供給して
　　文化の発展に貢献し
信用の蓄積につとめ
会社の発展と
　　協力者の共栄をはかり
これをよろこび
　　感謝する人びとと
　　ともに運営する

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ムラタの価値創造プロセス

経営理念である「社是」を変わらずに大切にし、変化する事業環境や拡大する社会課題に対して、世界中の従業員が信頼し合い連携していくことでイノベーションを起こし、新たな価値を創造していきます。

外部環境

- あらゆる“モノ”の電子化
- IoT・AI・ビッグデータ活用の台頭
- 通信機器の高機能化・高速化
- EV・安全運転・自動運転
- 情報セキュリティ強化

世界の社会課題

- 気候変動
- 資源の枯渇
- 人権問題　など

SDGsを代表とする世界の社会課題

right © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ムラタのコア・コンピタンス

材料技術

部品の特性に影響を与えるセラミック材料や電極材料を高い精度で制御する技術を確立してきました。さらに有機材料も取り入れることで、新しい材料の開発から新たな価値を創出していきます。

生産技術

材料技術を最大限に生かすための設備を、自社オリジナルで開発・製造しています。製品コンセプトにマッチした生産ライン・設備がムラタの競争力を高めています。

積層技術

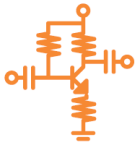
セラミック材料を薄いシートに成形し、何層にも積み重ねる技術を鍛え上げてきました。この高いレベルの技術でお客様の期待に応えています。

高周波技術

ムラタの高周波技術は、急速に進化するモバイル機器のイノベーションを支えています。ムラタ独自の技術でデザインされたモジュールは、データ転送だけでなく給電の無線化にも貢献し、コミュニケーションの明日を支えています。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ムラタの技術

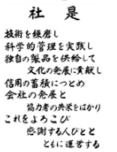
材料技術	材料設計	材料プロセス				
前工程技術	積層	印刷	焼成	薄膜微細加工	表面処理	精密加工
商品設計技術	高周波設計	デバイス設計	組み込み	高信頼性設計	 回路設計	シミュレーション
後工程技術	パッケージング	計測	自動化設備	IE		
分析・評価技術	材料分析	故障解析				

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ムラタの生い立ち

company

1944年村田昭によって村田製作所を創業



社是の制定

村田技術研究所を設立

八日市事業所を設立

株式市場に上場

シンガポール、アメリカに生産会社を設立

国内外での事業増強

中国無錫に生産会社を設立

長岡京に新本社を建設

ムラタセイサク君®、ムラタセイコちゃん®誕生

村田製作所チアリーディング部誕生

売上高1兆円達成

1940s

温度補償用コンデンサ

1950s

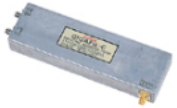
セラミックフィルタ

1960s

消磁用POSISTOR®

1970s

自動車電話機用アンテナ共用器GIGAFIL®



1980s

チップ積層セラミックコンデンサ(MLCC)

1990s

表面波フィルタ

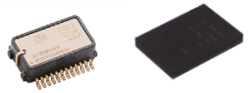
2000s

コネクティビティモジュール

2010s

ジャイロコンボセンサ

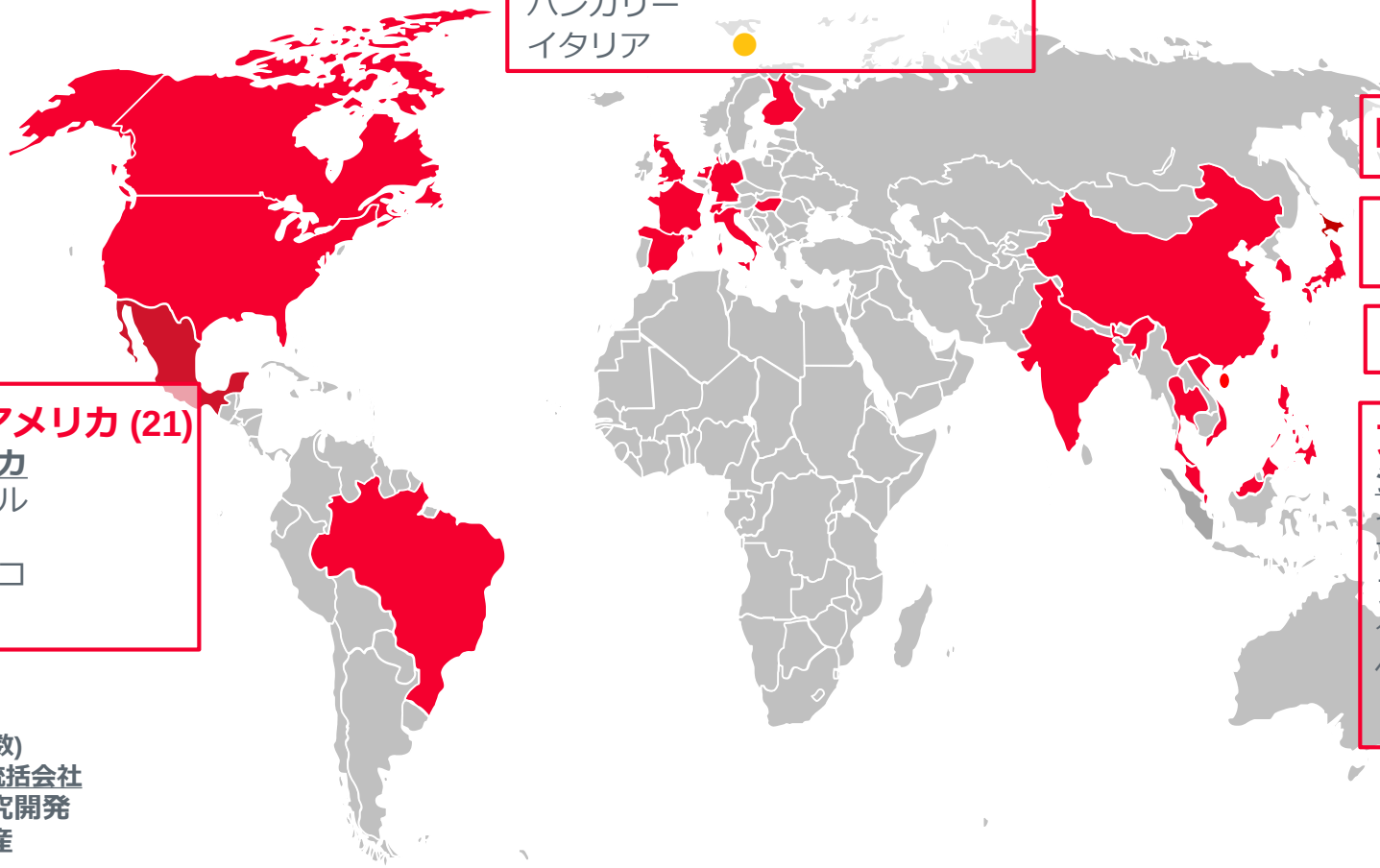
パワーアンプモジュール



innovations

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

グローバルネットワーク



ヨーロッパ(16)
オランダ
フィンランド ● ● スペイン
フランス ● ● スイス
ドイツ ● ● イギリス ● ●
ハンガリー
イタリア ● ●

日本 (54) ● ●

中華圏 (36) ● ●

韓国(3)

南北アメリカ (21)
アメリカ
ブラジル
カナダ
メキシコ

アセアン(17)
シンガポール ● ●
インド ● ●
マレーシア ● ●
フィリピン ● ●
タイ ● ●
ベトナム ● ●

(会社数)
地域統括会社
● **研究開発**
● **生産**

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

市場とアプリケーション

ムラタの技術が、エレクトロニクスの可能性を押し広げます

•スマートフォンやパソコン、AV機器、家電製品などのエレクトロニクスの中心分野から

•自動車やエネルギー、ヘルスケア、などの領域へも

暮らしに安心、安全、便利を・・・

通信

- スマートフォン
- スマートウォッチ
- 基地局

パソコン&周辺機器

- ノートPC
- タブレットPC
- プリンタ

テレビ&家電製品

- 薄型テレビ
- デジタルカメラ
- 冷蔵庫
- エアコン

自動車

- 安全システム
- 電気自動車
- インフォテイメント

ヘルスケア

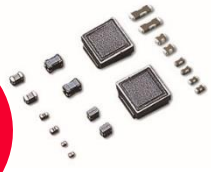
- 各種医療機器
- 生体センシング

エネルギー

- HEMS
- BEMS

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

主要製品の世界シェア*

40%	35% 	50%	40%
チップ積層セラミックコンデンサ	EMI除去フィルタ (EMIFIL®)	表面波フィルタ	多層LCフィルタ (フィルタ、バラン、カプラなど)
40%	95%	75%	30%
マイクロバッテリ「酸化銀電池」	ショックセンサ	セラミック発振子	高周波インダクタ

*主要製品の世界シェアは当社推定値です。また市場や用途により異なります。

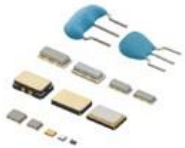
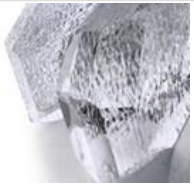
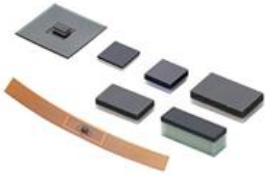
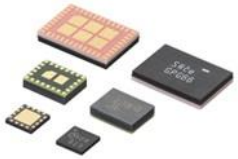
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

主要製品の所要数

製品名	製品所要数					
	スマートフォン	ノートPC	タブレットPC	自動車	デジタルTV	スマートウォッチ
チップ積層セラミックコンデンサ	1000	800	600	3000-8000	600	200
EMI除去フィルタ(EMIFIL®)	100	60	90	200	50	30
表面波フィルタ	4-70		4-70			
コネクティビティモジュール	1	1	1	1	1	1
ショックセンサ		1-3		4		
セラミック発振子				15-20		
チップインダクタ(チップコイル)	300	30	200	300	30	30
多層LCフィルタ(フィルタ・カプラ・バランなど)	2-14		2-7	2-8		2-3

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

主要製品のラインアップ

コンデンサ	インダクタ (コイル)	ノイズ対策部品 EMI除去フィルタ ESD保護デバイス	表面波フィルタ
			
サーミスタ (温度センサ)	センサ	タイミングデバイス (MEMS振動子/水晶振動子/ セラミック発振子/水晶発振器)	水晶応用製品
			
コネクタ	電源関連製品	バッテリ	RFID製品
			
フロントエンド モジュール	コネクティビティ モジュール	バラン	カプラ

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

Focus areas

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

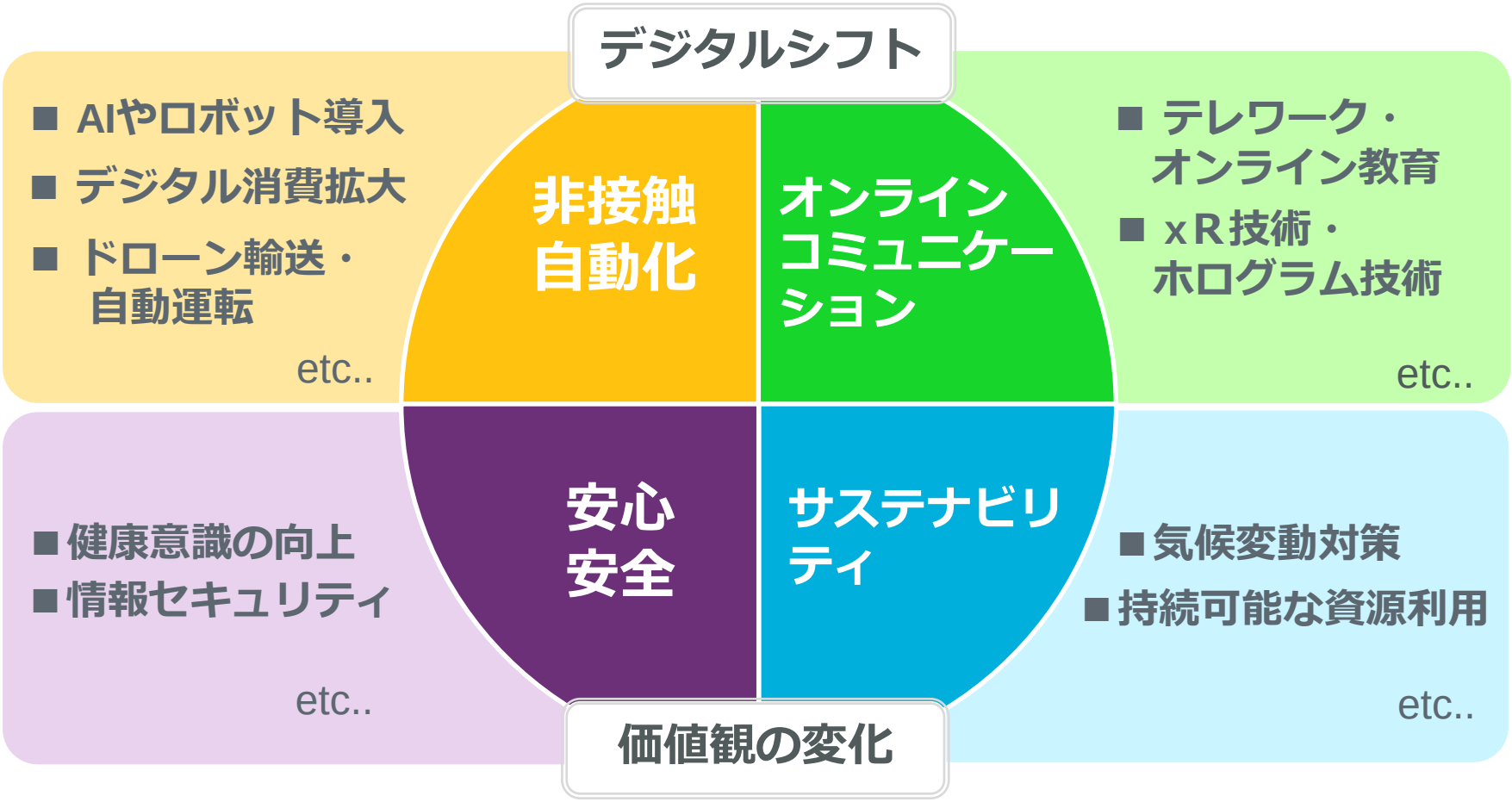
市場環境をめぐる認識

機会・リスク	政治	経済	社会	技術
	COVID-19 経済活動の制限 景気刺激策の実行	為替変動による 収益環境の変化	持続可能な社会の 実現(SDGs)	デジタル技術の 革新(5G/AI)
	ESG 環境規制の強化		デジタル・トランス フォーメーションの 進展	自動車の 電装化・自動化
	貿易摩擦 米中関係の緊張 保護主義の台頭	経済の回復時期 (早期化 or 遅れ)	ライフスタイルの 変化	
			再ロックダウンに よる行動制限	地政学リスクによる 技術革新の遅れ

- 5G・自動車の技術革新は不変。COVID-19により社会の変化がより大きく
- 世の中の潮流を大局的に捉えた長期的な視点での事業運営

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

市場環境をめぐる認識 –COVID-19による社会変化–



- COVID-19によりデジタルシフトが加速、電子機器の需要増
- 社会変化で生じるイノベーションが新しい事業機会

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

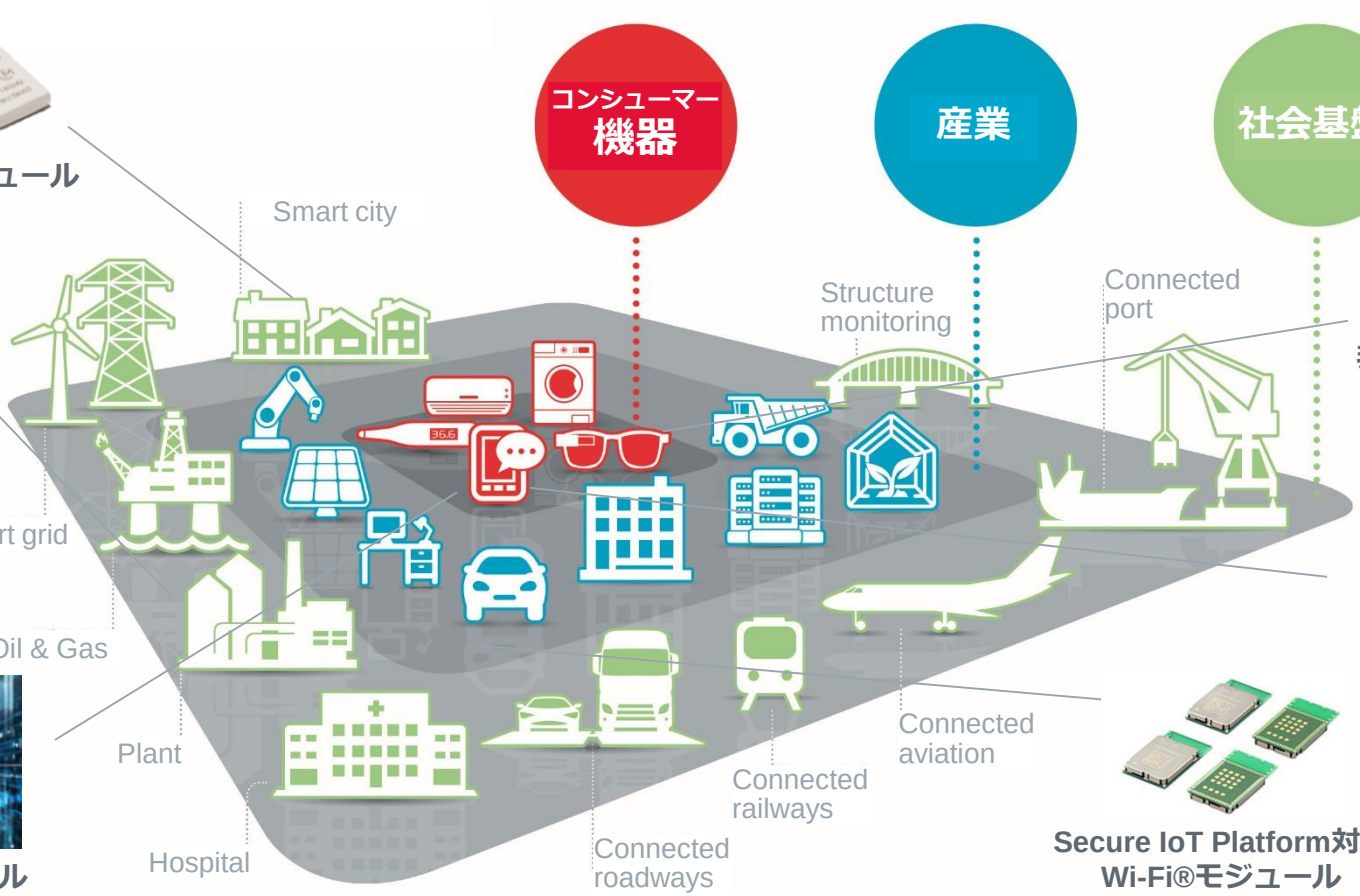
通信市場

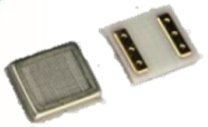
エレクトロニクスの広がり –市場機会の増大–

LPWAモジュール

無線センシング
ソリューション

AI搭載モジュール





非振動型広帯域超音波
発生デバイス

3DHaptics™

Secure IoT Platform対応
Wi-Fi®モジュール

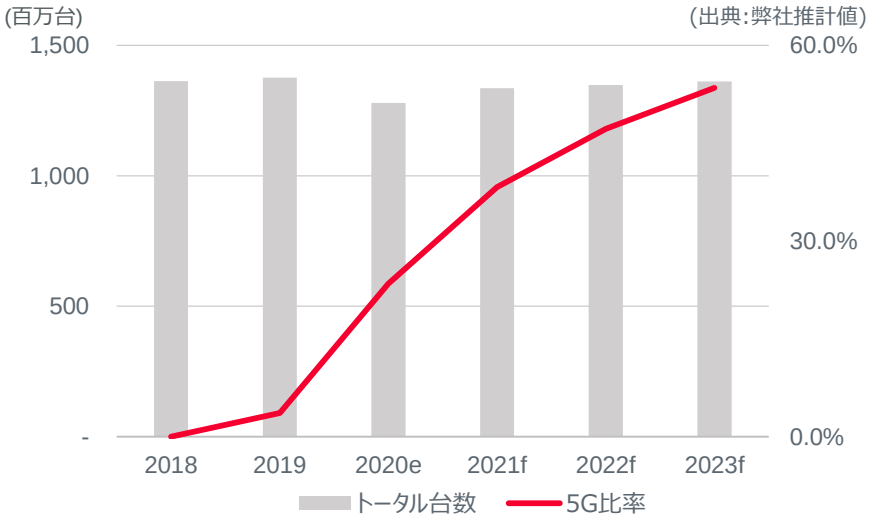
- 5G技術による多様なニーズ
- 拡大するエレクトロニクス市場でInnovatorとして価値を提供

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

通信市場② 市場予測

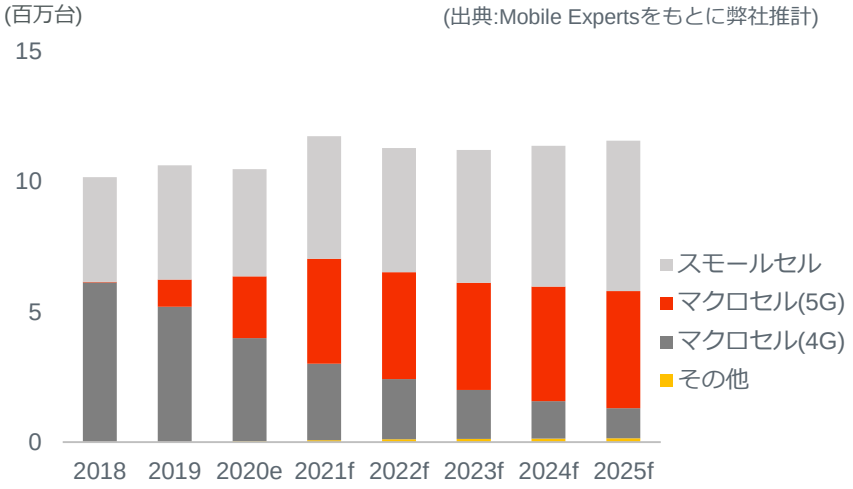
スマートフォン台数予測

台数成長は鈍化も、5Gスマホ比率は上昇



基地局台数予測

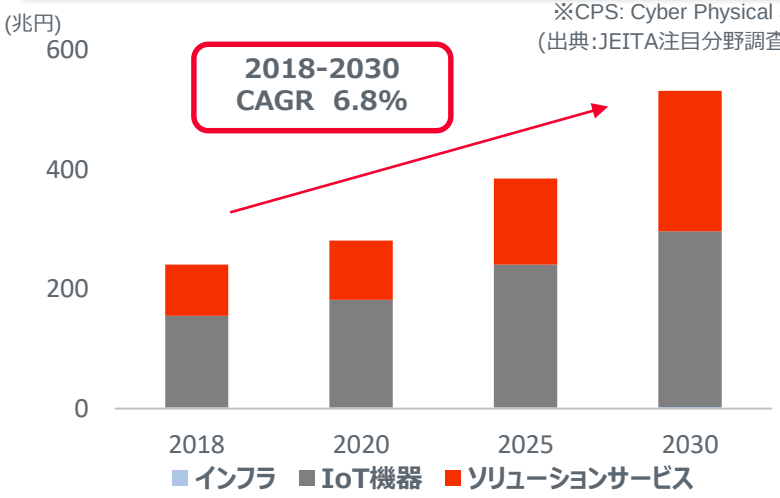
5G対応基地局は今後も増加



※マクロセルにおいてはRRUの台数を集計している。

CPS/IoT市場の分野別世界需要見通し

※CPS: Cyber Physical System
(出典:JEITA注目分野調査2019)



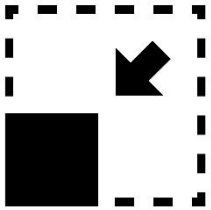
CPS/IoT市場の世界需要は年々増加
5G対応のIoT機器やソリューションサービスが増加を牽引

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

通信市場③ 技術動向(モバイル機器向け)

5G対応モバイル機器の技術的課題

端末の小型化



高密度実装要求
小型部品要求

消費電力の増加

高周波化・高機能化による消費電力の増加

熱問題

情報処理量の増加による発熱量の増加

コンポーネント・モジュールに求められる要件

小型 | **低損失特性** | **低消費電力** | **高温保証**

- 5G対応モバイル機器の普及には部品レベルでの技術的な課題解決が必要
- 顧客対応力・技術力・製品力で競争に勝ち抜く

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

通信市場④ 技術動向(IoTビジネス)

IoTビジネスに必要な技術

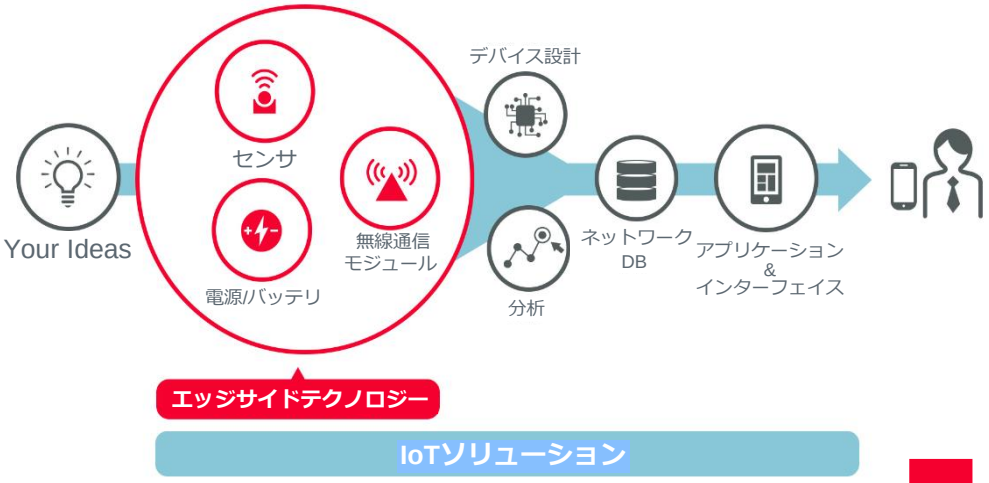
「データを集めてつなげる」

センシング技術

情報を正確に検知

無線通信技術

情報をクラウドに送信



ムラタの強み

高性能・高品質な製品ラインアップ

無線通信技術に関する知見

コンポーネント・モジュール
ソフトウェアの融合による
トータルソリューション

**電子部品の技術開発のノウハウを軸に
ムラタだからこそ実現可能なビジネスを創出**

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

自動車市場

自動車の将来像

・EVやHVといった環境に優しい車の普及拡大
・様々なセンサが状況を常時モニタリング、AIが判断する完全自動運転車の登場
・自動車のIoT化による多様なコンテンツやサービスが登場

Infotainment

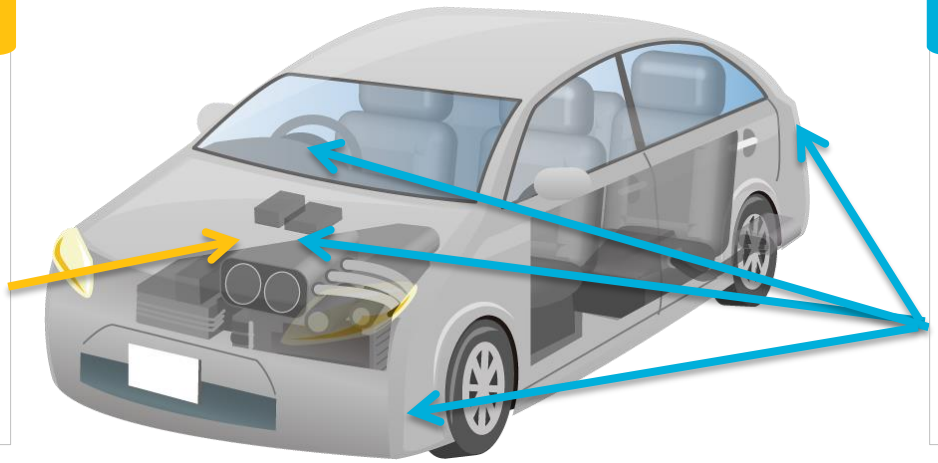
- MLCC
- V2Xモジュール
- コモンモードチョークコイル
- EMI除去フィルタ
- Wi-Fi®モジュール

etc..

Powertrain

- MLCC
- フィルムコンデンサ
- パワーインダクタ
- サーミスタ
- セラミック発振子

etc..



ADAS・Safety

- MLCC
- シリコンコンデンサ
- MEMSセンサ
- 超音波センサ
- タイミングデバイス

etc..

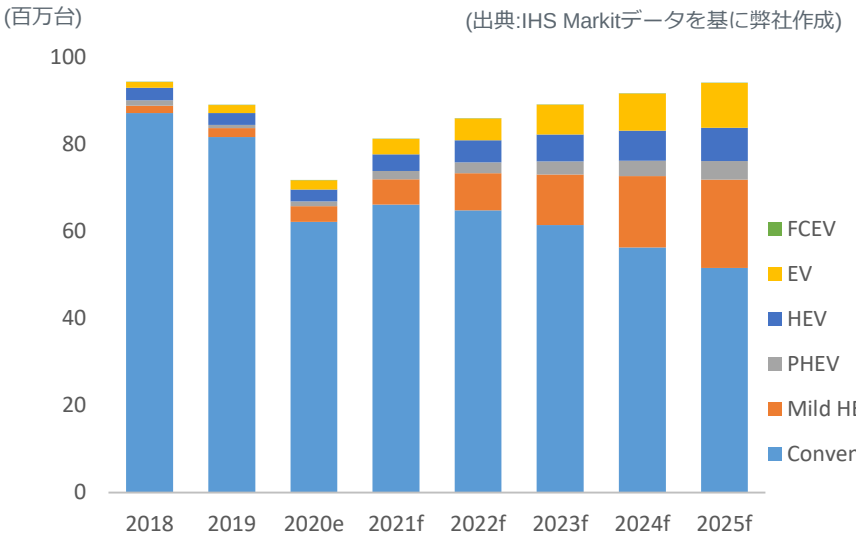
- 電動化・自動運転の進展により電子部品需要増
- 通信モジュールやセンサなど新たな部品需要の期待

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

自動車市場② 市場予測

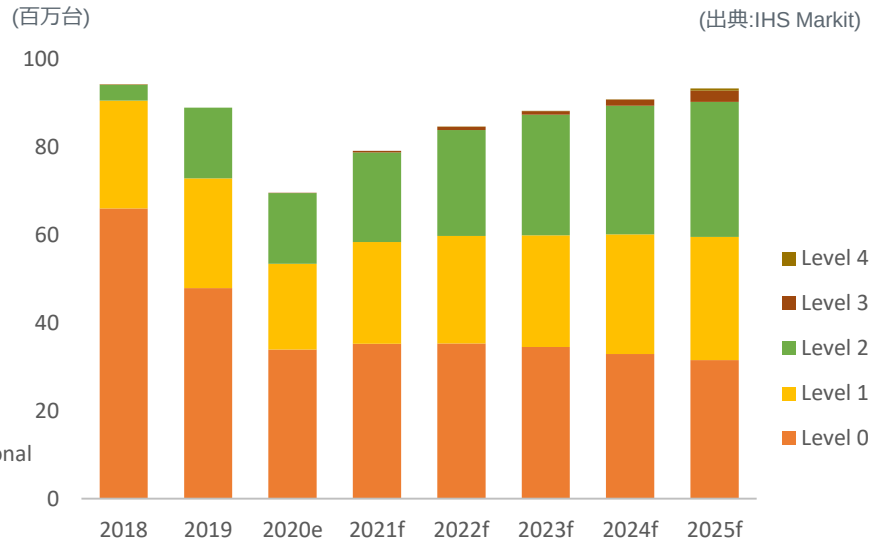
台数予測　パワートレイン別

各国による環境規制強化により電動化は加速



台数予測　自動運転レベル別

安全で快適な移動の実現に向けて自動運転は普及



市場と技術トレンドの把握

車両分解：部品需要・設計思想
走行評価：求められる技術と水準

- **研究開発へフィードバック**
- **需要予測の精度向上**
- **顧客提案力の強化**

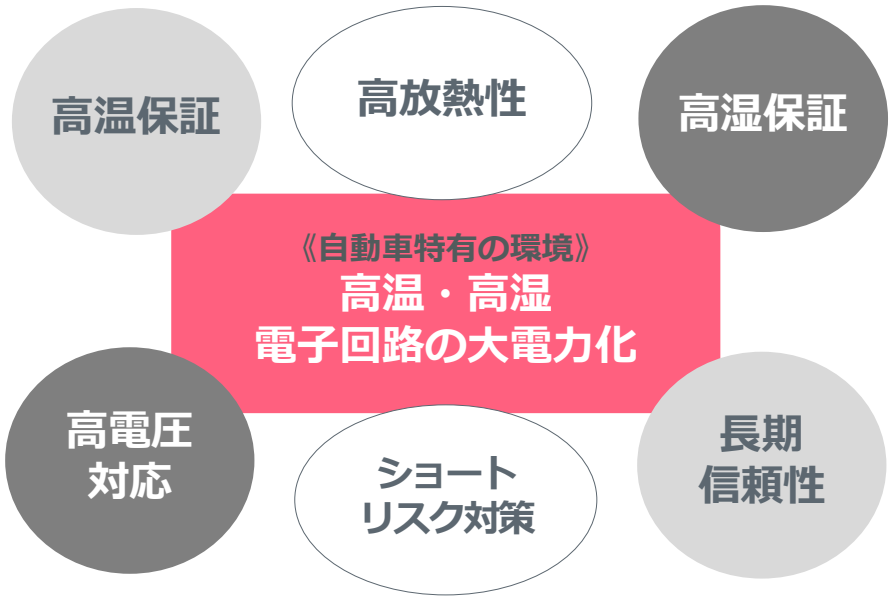
(当社調べ) (個)	従来車自動運転 Lv0	HEV Lv2	EV Lv3
コンデンサ	3,000	6,000以上	10,000以上
インダクタ	300	600以上	600以上

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

自動車市場③ 技術動向

車載部品に求められる技術

過酷な環境に耐えられる品質・信頼性！



ムラタの強み

高信頼・高性能な
製品を生み出す技術力

豊富な製品ラインアップ

同一品質の製品を
大量生産できる供給力

- 高品質と信頼性が求められる領域で競争優位性を発揮
- 将来の市場成長に備え、先行開発・先行投資を着実に実行

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

自動車市場④ 自動運転技術の進展とセンサ技術

必要測位誤差	～1m(10秒以内)	～0.3m(15秒以内)	～0.2m(数分以内)	<0.2m(常時)

●加速度センサ/ジャイロセンサ

SCC3000
4or5軸慣性力センサ

SCHA600(2021年量産開始予定)
6軸慣性力センサ

HPC1(開発中)
6軸慣性力センサ

コア技術
ムラタ独自の3D-MEMS設計/プロセス技術、およびジャイロ駆動/検知方式によるノイズ低減、耐振動特性向上、温度特性向上

必要距離性能	20cm～4m	15cm～5.5m	10cm～7m

●超音波センサ

AF-VE
防滴型トランスデューサー

構造設計技術による残響特性向上

SRT15(2021年量産開始予定)
防滴型トランスデューザー

圧電材料技術によるS/N向上

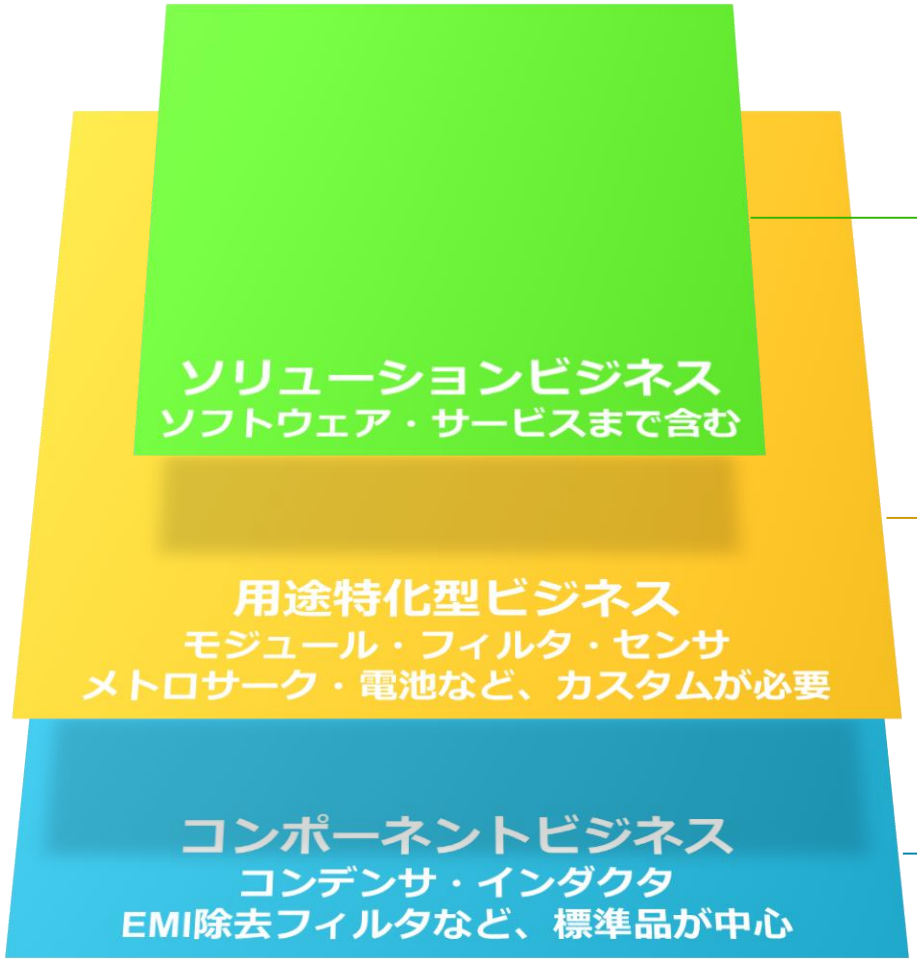
超音波モジュール(開発中)

積層技術＋回路技術による残響特性向上
組立て技術による特性ばらつきの抑制

自動運転技術の進展に応じて高いセンサ技術が必要

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略 3枚のポートフォリオ



ビジネス成功の鍵

- 顧客との協業と適合したビジネスモデルの構築
- 明確な価値創造とマネタイズモデルの確立

- 競合他社との差異化技術
- マーケットリーダーとなる顧客要求の実現
- プロセス・材料の標準化による
  マスカスタマイゼーション

- 基幹技術の進化
- 継続した技術革新
- 高いコスト競争力を実現する供給力

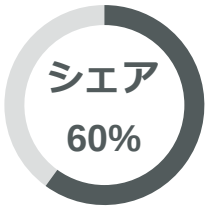
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－コンデンサ

通信市場

自動車市場

0402Mサイズ



0603Mサイズ

小型大容量

高信頼性

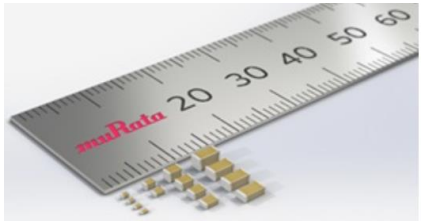
自動車市場

技術力
供給力
品質

0402Mサイズ・1.0uF

当社同サイズ従来品比で
約2.1倍の大容量化を実現

車載向け高容量品



車載向けで業界最高水準の高容量
3216Mサイズ・47μF
3225Mサイズ・100μF

競争優位性を活かして通信市場と自動車市場でさらに成長

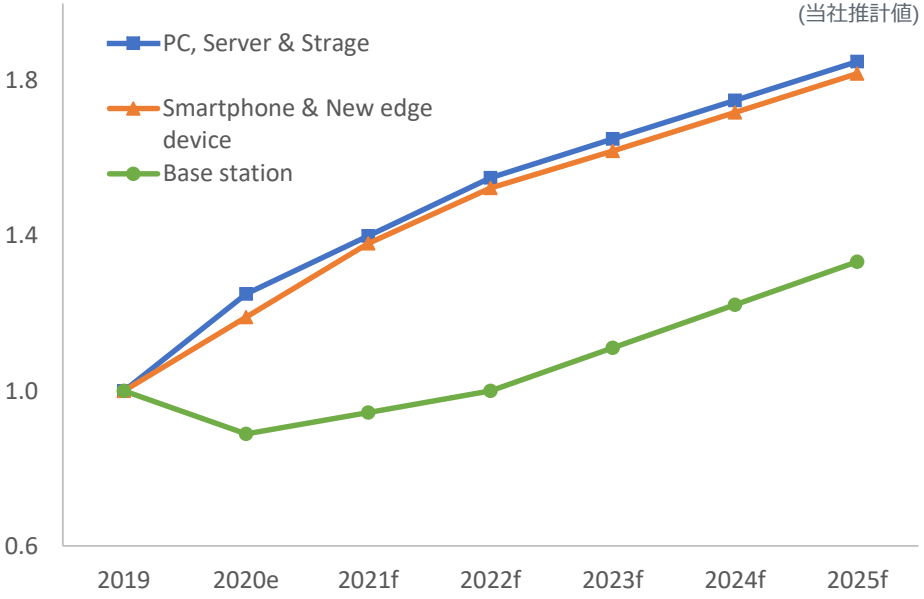
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－コンデンサ

通信市場

民生向けMLCCの市場予測(数量ベース)

5Gの浸透に伴い、需要数量は年々増加していく



スマートフォン向けMLCCの使用数量

5Gに対応することで使用数量は＋10～20%増加

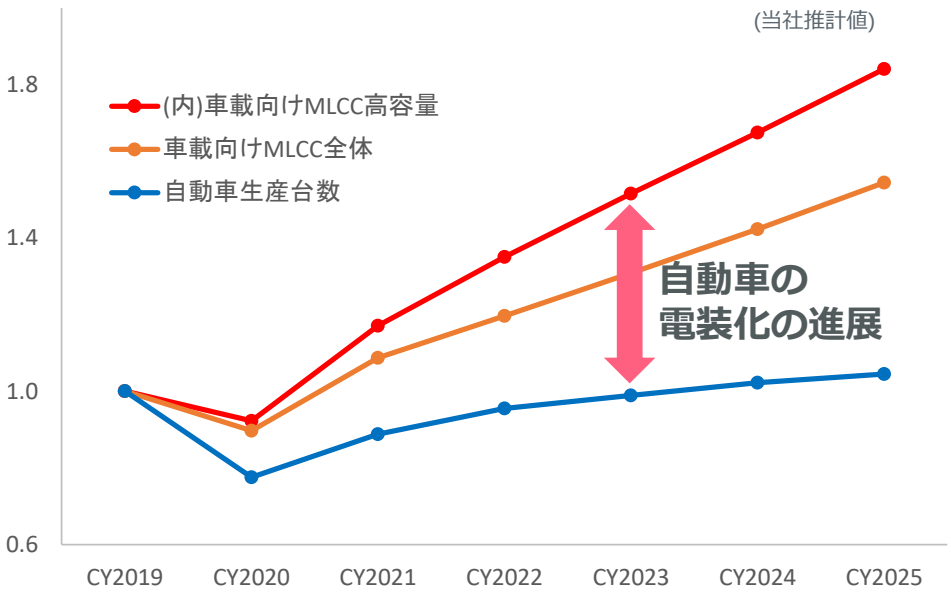
(pcs)

(当社調べ)	Low-end	Middle-range	High-end
Smartphone	400～500	700～800	900～1100

自動車市場

車載向けMLCCの市場予測(数量ベース)

自動車の電装化進展のトレンドは不変
特に高容量品の伸びが大きい



車載向けMLCCの使用数量

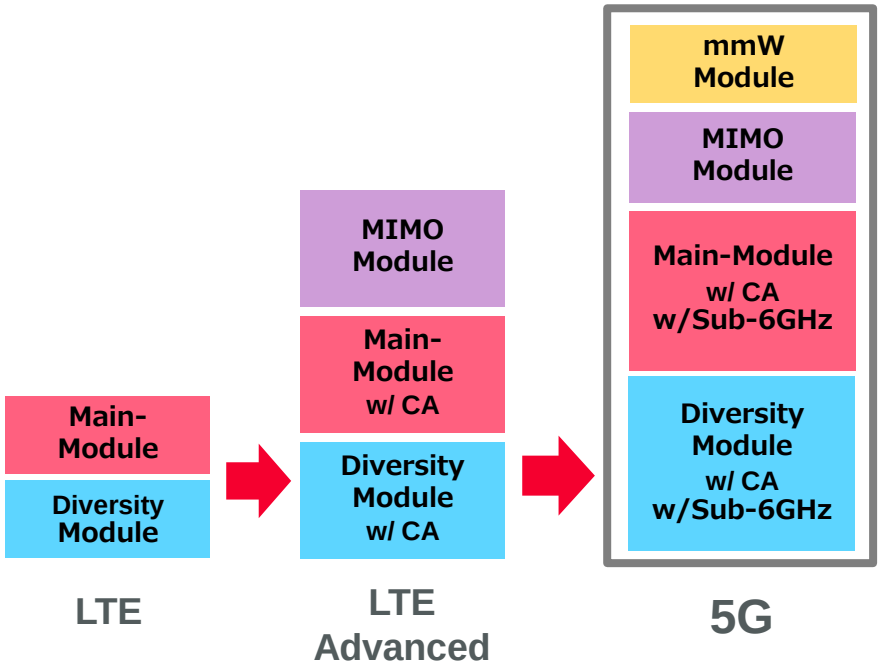
(pcs)

(当社調べ)	GAS	HV	PHEV	BEV
Powertrain	300～500	1,000～1,600	1,500～2,000	2,000～2,500
ADAS	2,000～3,000			
Safety	300～1,000			
Infotainment	500～2,500			
Other	500～2,500			

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

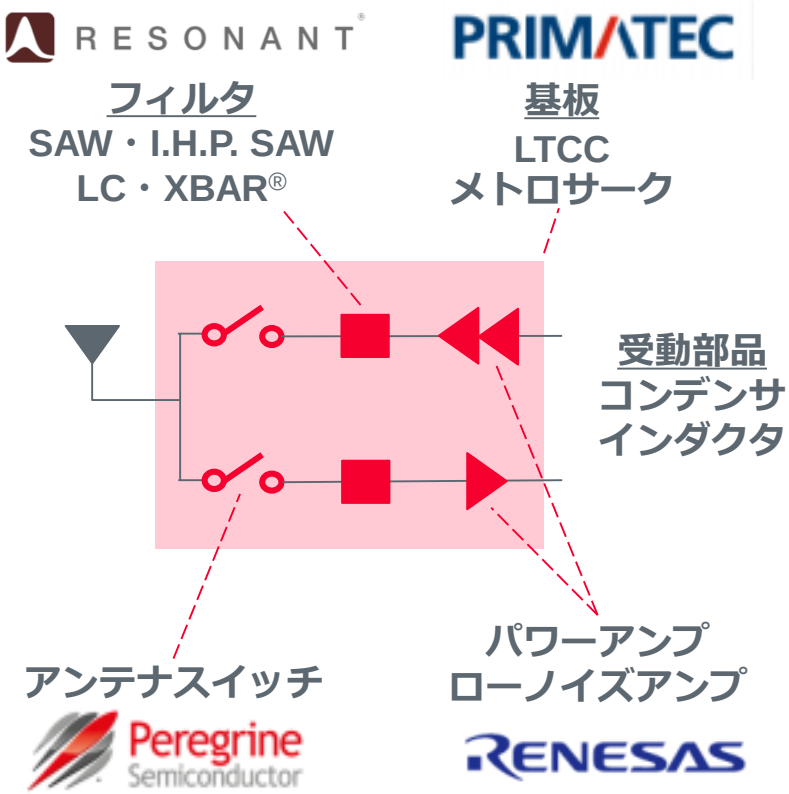
製品別戦略－モジュール

モジュールの技術トレンド



5G対応モジュールが追加されると共に
ミドルクラスの端末でもモジュール化が進展

モジュールの主要部品

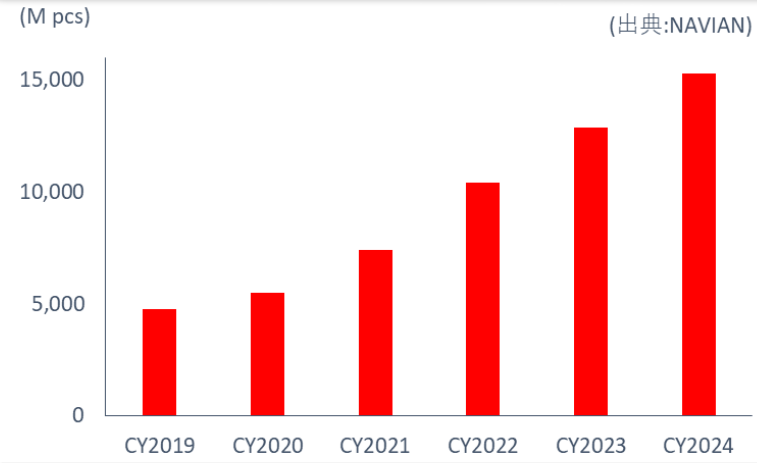


・5Gスマホが増加して、モジュール化は加速
・M&A・提携で強化した部品ラインアップをモジュール用に最適化

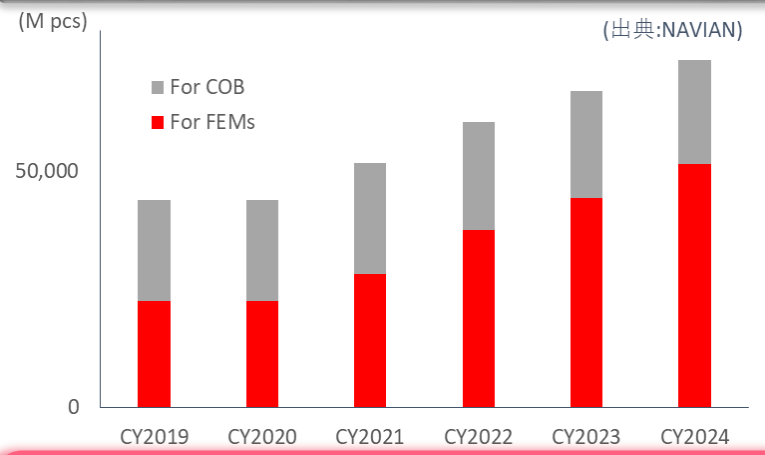
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－フィルタ

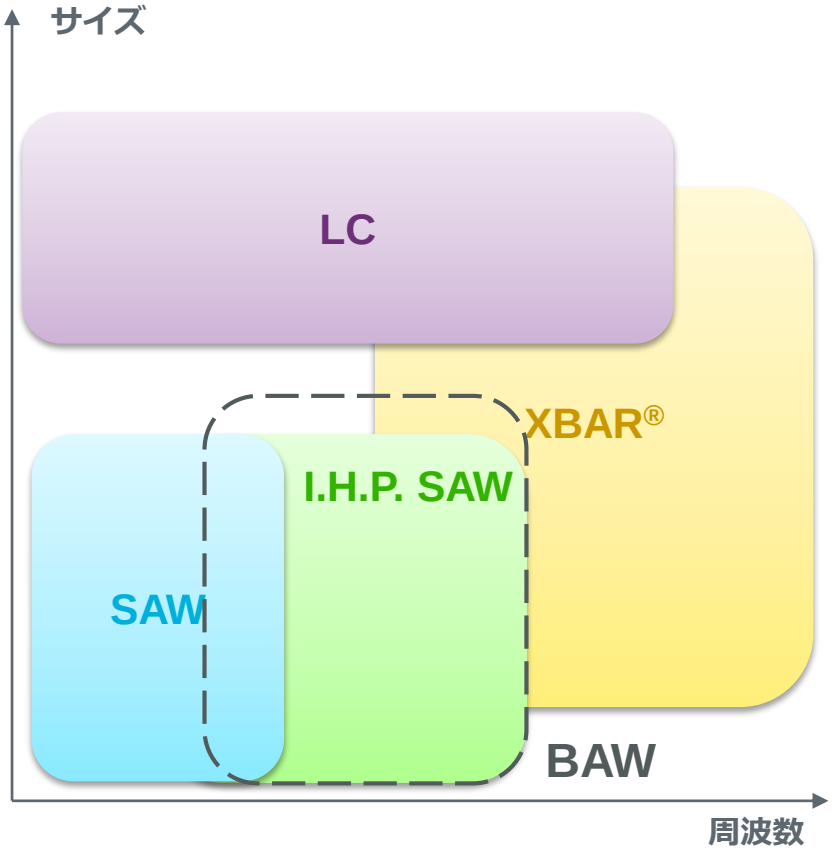
フロントエンドモジュールの市場予測



フィルタの市場予測



高周波・サイズトレンド



・5Gでモジュール・フィルタの需要が拡大
・ラインナップと特性(高周波/広帯域/急峻性/低減衰/小型 等)が重要に

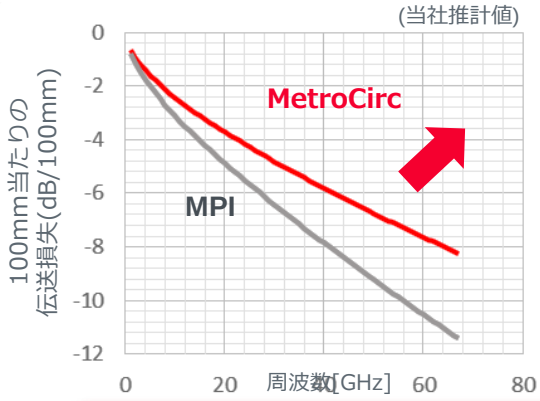
Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－メトロサーク

メトロサークの特徴

メトロサークの拡売戦略

5Gでのメトロサーク



ミリ波帯での優れた特性による競合技術との差異化

市場拡大

- 既存アプリケーションを軸に新規顧客の開拓
- 5Gをキーワードに新規アプリケーション開拓

他事業との連携強化

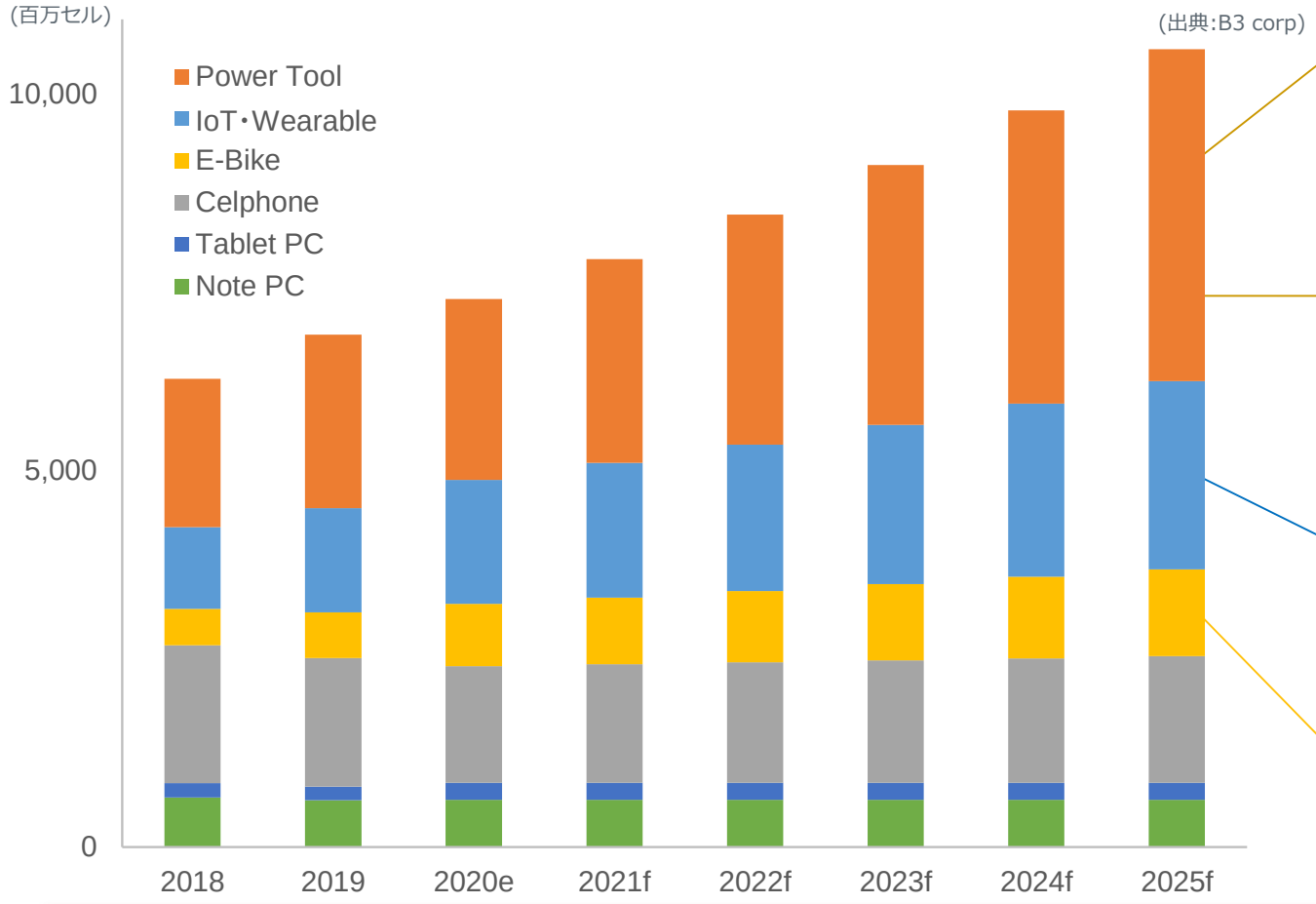
- メトロサークを基板で用いたモジュールの開発

- ミリ波のモジュールや伝送線で高周波特性・屈曲性を活用
- 員数を減らす提案、設計の自由度を増す提案が可能

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－電池

民生向けリチウムイオン電池の市場予測



・動力源の置換え、5GとIoTの浸透により、電池市場は成長を続ける
・スマホ向けを縮小し、成長するパワーツールや小型電池に選択と集中

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－電池

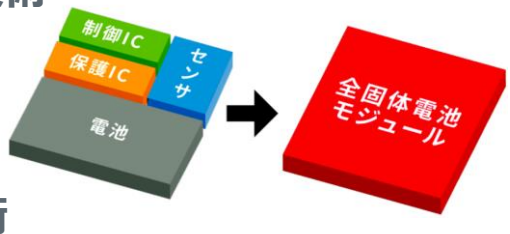
売上成長のための競争優位性

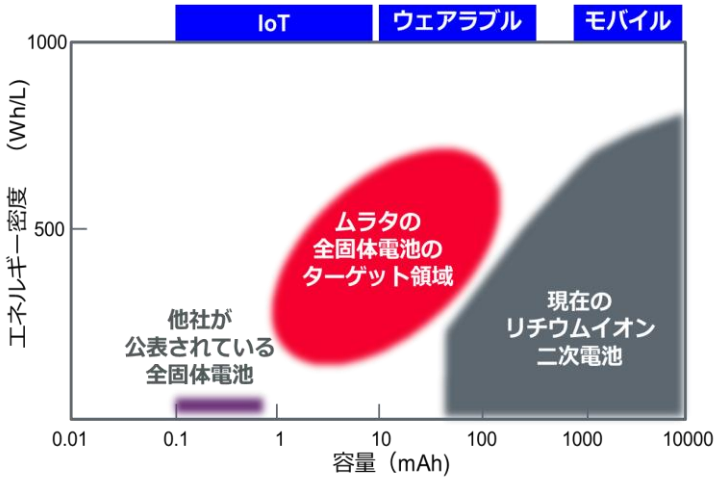
パワーツール

- 製品品質のある高出力技術
- 耐衝撃パッケージング技術

小型電池

- 大容量の全固体電池
- 小型パッケージング技術





コスト構造の改革

- 物流と生産の最適化、サプライチェーンのシステム化による間接生産性の向上
- ポートフォリオ経営、全社でのリソースの再配分
  - 生産拠点の集約
  - 収益性の低いスマートフォン向け電池を縮小
  - 引き続き、生産の最適化と固定費の抜本的な見直しに取り組む

・2021年度 黒字化を達成するため、改革を進行中
・成長市場で競争優位性を活用・確立する

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

製品別戦略－ソリューション

価値ある
データ

作業者安全
モニタリング
システム

安全で快適な
作業環境

mFLIP™ 設備稼働率の改善

Vios MEDICAL 効果的・効率的な医療

AONA 会議の活性化　など

ソフトウェア

独自の
アルゴリズム

ネットワーク

5G・ LPWA
Wi-Fi®・RFID
Bluetooth® など

センサ

セラミック・無線
MEMS など

日常

温度・湿度
心拍・活動量

振動・設備稼働・電流
会話・呼吸数　など

独自のセンサ・ネットワーク・ソフトウェアを通して
身の回りの日常から価値あるデータを生み出す

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

中期構想2021 – 進捗 –

為替前提：110円/USD

	2019年度	2021年度
売上高	1兆5,340億円	2兆円
営業利益率	16.5%	17%以上
ROIC(税引前)	16.1%	20%以上

ポートフォリオ経営の実践

事業性評価モデルの導入

飛躍的な生産性向上と安定的な供給体制構築

IoTの積極的な活用等によるモノづくりの効率性向上

人と組織と社会の調和

・重点課題(マテリアリティ)の目標値設定
・従業員向けにグローバルサーベイの実施

・経済減速が売上高目標の達成時期のリスク
・営業利益率とROICの向上には継続的に取り組む
・健全な成長を続けるための3つの全社課題は着実に実行中

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

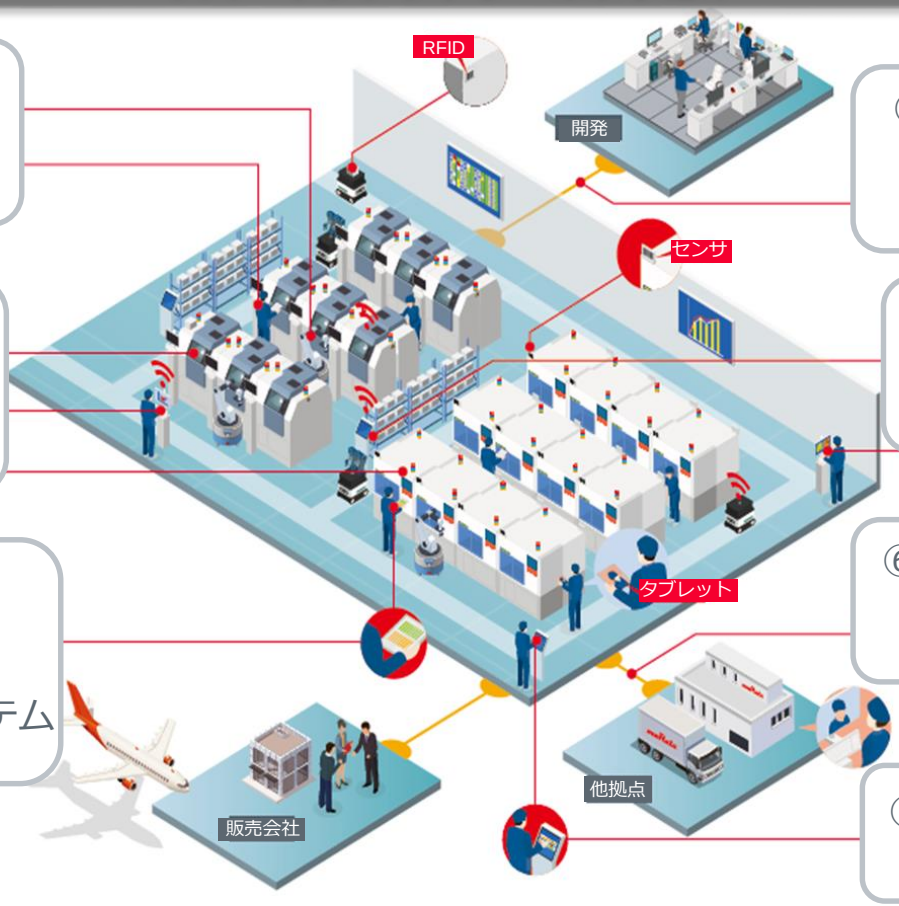
中期構想2021－モノづくりの強化－

スマートファクトリーの取り組み

①多様な人材への対応
- ロボット、AGV
- 加工指示システム

②製造品質向上
- 異常予兆管理
- AI活用
- 加工条件自動制御

③設備効率向上
- 予知保全
- 設備稼働状況監視
- 保全業務支援システム



④設計品質向上
- 開発-製造間の情報連携強化

⑤生産複雑化への対応
- 生産計画システム
- 配台指示システム

⑥仮想一拠点
- 情報一元化
- 遠隔支援

⑦省エネルギー
- エネルギーマネジメント

「つながる×自動化」により直接労務生産性と設備生産性の向上を目指す！

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

中期構想2021－マテリアリティ－

機会の側面：事業を通した社会課題の解決

重点課題
- ●気候変動対策の強化に貢献する高効率部品
- ●持続可能な資源の利用を促進する軽薄短小部品

目標
- ○社会課題を切り口とした事業機会を探求する
- ○軽薄短小・高効率の非財務価値を定量化する

リスクの側面：事業プロセスにおける社会課題への取組み

重点課題（マテリアリティ）を特定し、事業経営に反映

E 環境

重点課題
- ●気候変動対策の強化
- ●持続可能な資源利用
- ●公害防止と化学物質管理

目標
- ○温室効果ガス排出量を抑制
- ○廃棄物排出量の改善

S 社会

重点課題
- ●安全・安心な職場と健康経営
- ●人権と多様性の尊重
- ●地域社会との共生

目標
- ○重大労災を発生させない
- ○「人権・労働に関するマネジメントシステム」の活用

G ガバナンス

重点課題
- ●公正な商取引
- ●情報セキュリティ
- ●事業継続の取組み(BCM)

目標
- ○情報セキュリティの考え方の浸透
- ○リスクマネジメントのPDCAの有効化

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ESGの取り組み事例

環境

TCFDへの対応

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

・2020年2月7日賛同を表明
・「Murata value report2020」で情報開示

再生可能エネルギーの導入

・日本最大級となる駐車場型メガソーラーシステムを導入
・年間1,698t- CO2のCO2を削減予定

蓄電池システムの活用推進

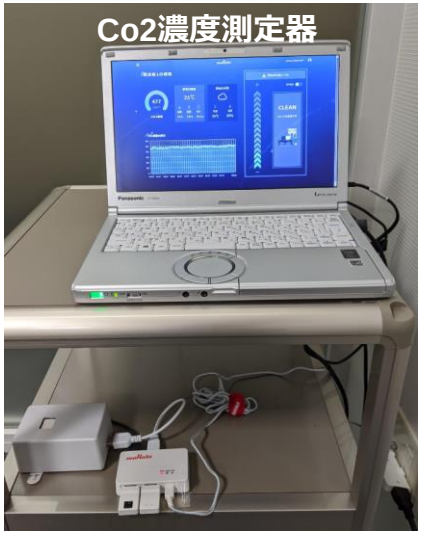
・蓄電池を内蔵したハイブリッドパワーコンディショナ
・1台で「太陽光発電の余剰売電」「蓄電池活用による買電節約」「非常時の電力供給」に対応

新型コロナウイルス感染症への対応

ムラタは、従業員の健康と安全確保を最優先に守るために以下のような取り組みを行なっております。また併せて人工呼吸器等の医療機器やリモートワークに必要なPC関連機器、家庭生活を快適にするインフラ機器など、現在世の中で多くの方が必要としている機器への部品供給を滞らせないよう、責任を持って事業運営を行っています。

■取り組み事例

ハード面	ソフト面
・在宅勤務の推奨 ・3密を避けるためのレイアウト変更 ・社員食堂で行動トレース ・ムラタ商品「Co2濃度測定器」を活用して会議室内の環境の快適化	・在宅勤務を健康的に行うノウハウ集の発行 ・新入社員の支援 ・緊急事態下でのコミュニケーションや労務管理等の具体的な助言集の発行（管理職向け）

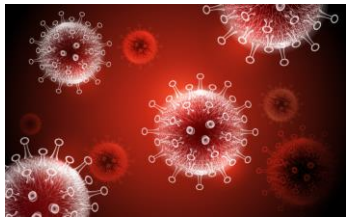


Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

財務戦略

リスク

COVID-19・米中貿易摩擦



成長機会

通信市場・自動車市場

強固な財務基盤

- 金融機関のクレジットラインを確保
- 社債を発行して資金調達を多様化
- 適正な水準の手元資金
  - 売上月齢2.5～3.5ヶ月を目安に運営

リスクをとった事業運営

- ROICと成長性の視点から資源配分
  - 通信・自動車市場への重点投資
  - スマホ向け電池や低付加価値モジュールの縮小
- 資本コストを反映した投資決定と事業評価
  - 回収期間・投資利益率

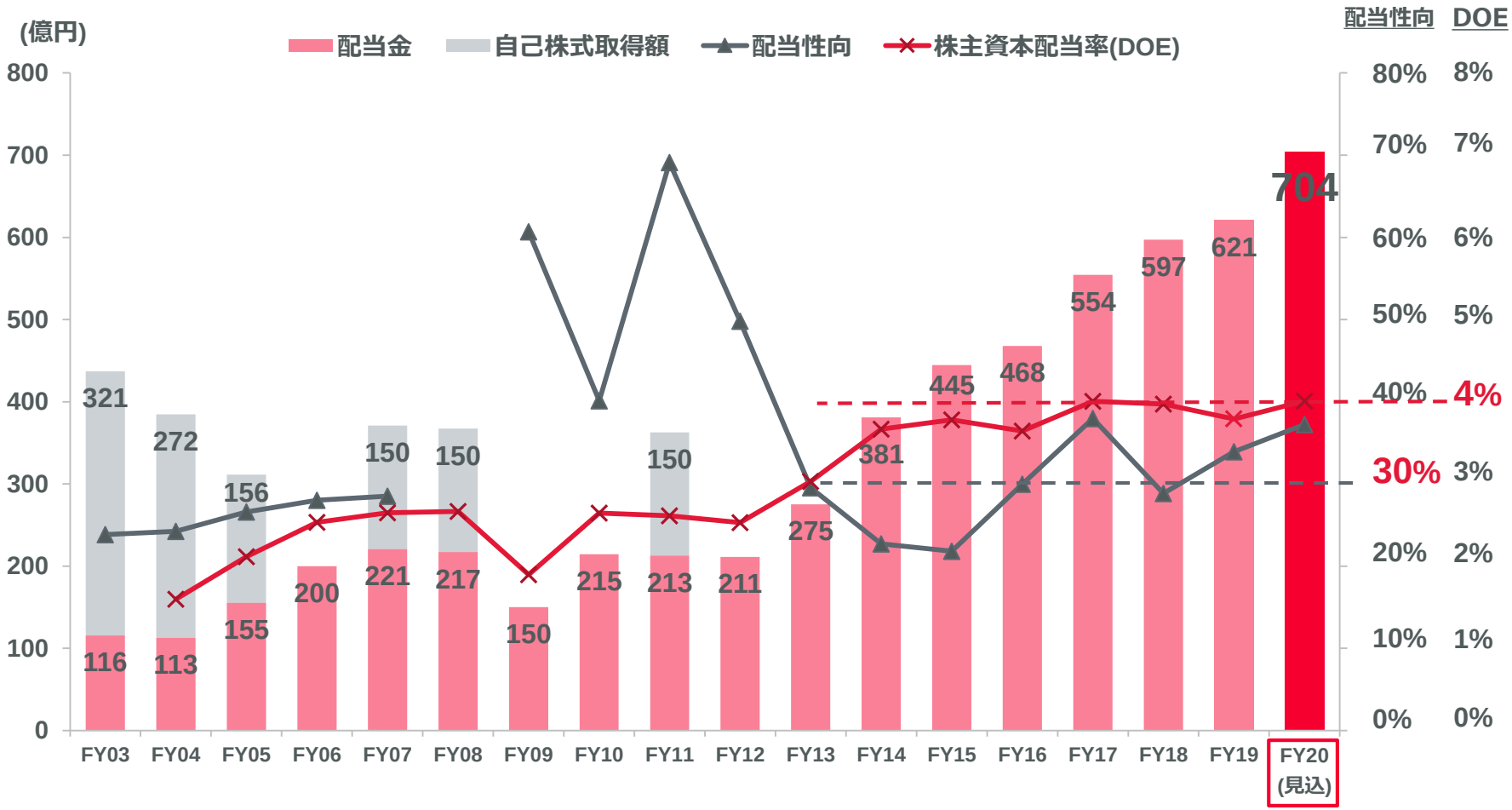
成長と分配

- 中期構想2021
  - 売上高2兆円・営業利益率17%以上・ROIC(税引前)20%以上
- 安定的な増配
  - 中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上
- 自己株式取得を適時実施

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

株主還元の方針

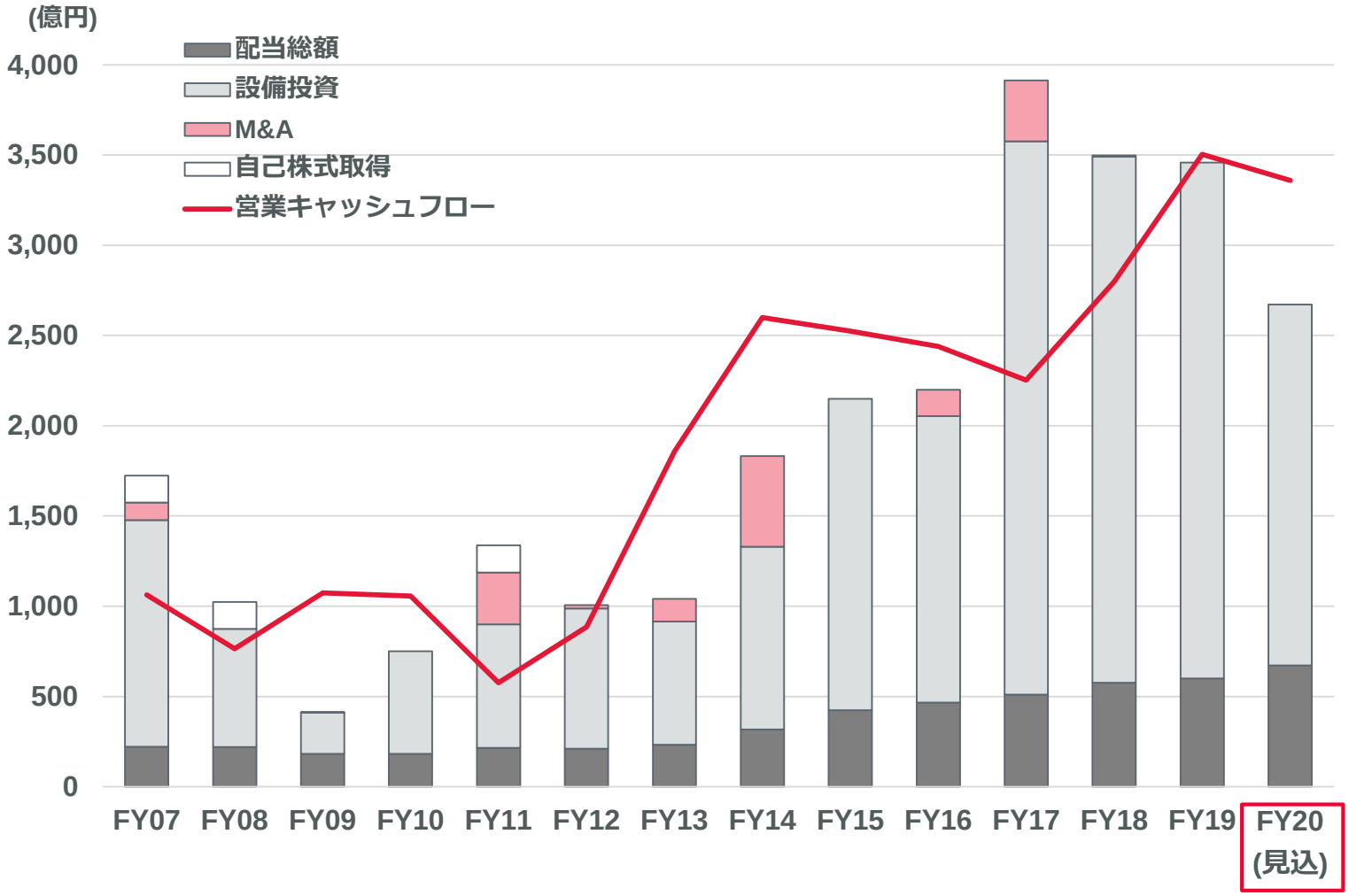
- **配当**　従来から配当の安定的な増加を基本方針としており、今回新たな指標としてDOEを採用。
  中期的に配当性向30%程度を目安にDOE4%以上を実現
- **自己株式取得**　従来から株主還元の手段として、資本効率の改善を目的に適時実施



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

キャッシュフロー

- 19年度は自動車市場と通信市場での成長に向け、資金を調達して投資を実行
- 20年度は投資が減少し、回収フェーズへ



Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

ESGインデックス及び外部機関からの評価

ESGインデックスへの採用状況

2020 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

FTSE4Good

FTSE Blossom Japan

2020 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

2020 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

ECPI Sense in sustainability

外部機関からの評価・外部機関との活動

CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

2020 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

NIKKEI Smart Work 2021 Best 54

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようにお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.

Thank you

Copyright © Murata Manufacturing Co., Ltd. All rights reserved.